

主催: 荒川区

次世代へのバトンタッチ支援事業

ウェブ動画配信

早めに準備して会社の明るい未来につなげよう! 後継者育成セミナー

後継者が経営者になるためには 「決断力!!」が必要

～9年間で800名以上を教えた後継者塾の
カリスマ塾頭が語る“後継者が成長する秘訣”～

視聴
無料

日程

令和2年 9月16日(水)から 動画配信



自宅や会社で お好きな時間に 視聴可能



荒川区のホームページからアクセス

<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a021/jigyousha/jigyouunei/jigyosyokei.html>

講座内容

1. 後継者塾のカリスマ塾頭から見た“後継者”とは、どのような人か?
2. 後継者は何に悩み、何に躊躇し、何を恐れているのか?
3. 勇気をもって決断できる経営者に成長するためには、何が必要なのか?
4. 今、何をすればよいのか? 次に、何をすればよいのか?

現経営者がすべきこと、
後継者がすべきこと

その答えは
「後継者ノート」に!

こんな事ありませんか？

「後継者はいるけど頼りない」
「どのように育てたらよいかわからない」
という状況になっていませんか?
「後継者は放っておいても育つもの」
と思って、後継者教育を
後回しにしていませんか?



「現社長のけん引力を
引き継げるだろうか?」
と不安になっていませんか?
「決定力や判断力をどう身につけたら
よいのか」という悩みを
誰にも相談できずに、
胸の中に溜めていますか?



後継者が一人前に成長するまでに5年～10年かかると言われています。
しかし、日頃の仕事が忙しくて、最も重要な後継者教育がおろそかになってしまいがちです。その様な方々に後継者を育てるヒケツをお伝えします。



「後継者ノート」
(荒川区内中小企業限定 1社 1冊無料)
実際にノートに
書き込みながら考える事で、
ご自身の後継者育成計画を見
える化できます。

視聴前に、
ぜひ資料請求を！



講師

事業承継センター株式会社
常務取締役 後継者塾塾頭

東條裕一

経営者の仕事は「決断すること」です。テキバキと判断して仕事を回してきた管理者でも、経営者になった途端に、悩み、躊躇し、恐れを感じて判断できなくなります。それほど経営者の判断、決断は重いのです。勇気をもって、自信をもって決断できる経営者に成長する秘訣をお伝えします。

「後継者ノート」は、裏面の資料請求にてお申し込みください。

くお問い合わせ先> 事業承継センター(株) TEL:03-5408-5506 受付時間:平日9:00~18:00

※事業承継センター(株)は荒川区の事業受託者です。



主催



荒川区

荒川区 産業経済部経営支援課 経営支援係
〒116-8501 荒川区荒川 2-2-3
TEL : 03-3802-4808 (直通) FAX : 03-3803-2333

委託先



事業承継センター

事業承継センター(株)

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館518
TEL : 03-5408-5506 FAX : 03-5408-5507

荒川区 後継者育成セミナー資料請求(後継者ノート)

以下にご記入の上、FAX または Email にて送付ください。



会社名	フリガナ		業種	
相談者	フリガナ		役職	
住所	〒			
連絡先	TEL		FAX	
	E-mail			
個別相談をご希望されますか	<input type="checkbox"/> 電話等による個別相談を希望する			
	<input type="checkbox"/> 訪問相談を希望する			

※申込書にご記入いただきました情報は、事業承継支援事業の各種案内を送付するために使用し、それ以外には使用しません。

FAX 番号：03-5408-5507
(事業承継センター事務局行き)

E-mail : info@jigyousyoukei.co.jp

豊富な相談実績をほこる「事業承継士」による 訪問相談です

秘密厳守
無料相談

事業承継支援の専門家が会社の未来と一緒に考えます

会社の後継ぎ問題、少しでも気になる方は、ご相談ください

豊富な相談実績をほこる事業承継士が、事業承継に関する事であれば、どんな内容でも承ります。
「相談したい」と思ったら、まずはお申込みください！貴社のご都合のよい日時に専門家が訪問して相談を承ります。



対象者	荒川区内中小企業限定
利用料	無料
利用可能回数	1社3回まで ※原則、1回2時間程度
問い合わせ先	事業承継センター株式会社 ファックス：03-5408-5507 メール：info@jigyousyoukei.co.jp

ひとつでもチェックがあれば要注意！

- 事業承継を漠然と考えているが何から手を付けたらよいか、わからない。
- 後継者が決まっていない／後継者が育っていない。
- 会社と個人の資産が複雑に入り組んでいる。
- 株式が分散している／後継者が株をほとんど持っていない。
- 「長男と次男」など兄弟を入れさせている。